

令和8年度外郭団体活動状況評価シート No.1

【令和8年3月31日時点】

団体名		吹田市健康づくり推進事業団					所管部室（課）名		健康まちづくり室						
所在地		吹田市出口町19-2（総合福祉会館内）													
設立年月日		平成3年3月29日		代表者職・氏名			理事長 三谷 一裕								
基本財産		217,000,000円		①本市出資金（本市の出資割合）			円（ %）								
				②本市出捐金（本市の出捐割合）			200,000,000円（92.1%）								
設立目的		「健康づくり都市」を宣言する吹田市との連携のもとに、市民の自主的な健康づくりの実践活動を促進し、支援することにより市民の健康増進に寄与することを目的とする。													
事業内容		(1) 運動、栄養、休養の均衡のとれた生活習慣の形成を目的とした安全で科学的根拠に基づく健康づくりの実践指導 (2) 健康づくり指導者の育成及び健康づくりの地域推進組織の育成、支援 (3) 市民向け健康情報紙の発行、各種パンフレットの発行、配布などによる健康づくりの啓発、普及 (4) 市民参加による健康づくりイベントの開催 (5) その他事業団の目的を達成するために必要な事業					（具体的な事業内容） 1. みんなの健康展の開催 2. 吹田市民健康づくりフェスティバルの開催 2025チャレンジDAYの開催 3. 各種教室等の開催 4. 健康まちづくり支援事業の実施 5. 情報誌紙「健康すいた」の発行 など								
			合計（市職員及び元市職員以外も含む。）								合計（元市職員以外も含む。）				
			うち市職員		うち元市職員						うち元市職員				
					定期報酬	都度報酬	報酬なし								
役員数 （人）	理事 （取締役）	常勤	1	0	1	0	0	職員数 （人）	常勤	1	1				
		非常勤	14	3	0	1	0			再任用※1 常時勤務	0	0			
	監事 （監査役）	常勤	0	0	0	0	0		再任用※1 短時間勤務	0	0				
		非常勤	2	1	0	0	0		非常勤	5	0				
65歳以上の役員数※2 （人）			13		1	1	0	臨時 雇用員			0				
評議員 （人）			14	1	0	1	1	65歳以上の職員数 （※2）			0	0			
元市職員に対する報酬や給与水準が、本市制度の水準を上回る。（いずれかに○）								該当 ・ 非該当							
【該当する場合のみ記載】内容															
元市職員に対して退職金を支給している。（いずれかに○）								該当 ・ 非該当							
【該当する場合のみ記載】内容								特定退職金共済制度（掛金3,000円/月）							

※1 再任用職員とは、団体の定年年齢以降における最初の3月31日を超えて雇用されている職員をいう。

※2 65歳に達した日以降における最初の3月31日を超えて雇用されている役員数又は職員数。

令和 8 年度外郭団体活動状況評価シート No. 2

【令和 7 年度決算】

団体名		吹田市健康づくり推進事業団			所管部室（課）名	
					0	
財務状況（円）	損益計算書	総収入	35,826,182	貸借対照表	資産の部合計	227,600,680
		（うち市受入金）	31,681,009		負債の部合計	5,146,670
		（その他）	4,145,173		（うち有利子負債）	
		総費用	38,794,961		正味財産合計	222,454,010
		経常損益	-2,968,779		（うち一般正味財産）	222,454,010
		当期損益	-2,968,779			
市から団体への支出（円）				主な内容、算出根拠等		
	フロー	補助金	31,681,009	吹田市健康づくり活動推進事業補助金		
		委託料				
		指定管理料				
		その他				
		計	31,681,009			
	ストック	貸付金残高				
		債務保証残高				
		損失補償残高				
		出資金（出捐金）	200,000,000	平成 3 年設立時出損		
		その他				
		計	200,000,000			

令和8年度外郭団体活動状況評価シート No.3

【評価対象期間：令和7年4月1日から令和8年3月31日まで】

団体名	吹田市健康づくり推進事業団	所管部室(課)名
		健康まちづくり室

1 団体による評価

(1) 運営に関する評価

◎→できている
△→一部できている

○→概ねできている
×→できていない

指針の項目	評価項目	評価	評価の理由
組織及び人事管理	組織や、事務処理に関する規程等を適切に整備している。	◎	組織及び人事管理については、効率的な執行体制の確保のため、職員体制の一部見直しに向け、規程等の改定準備を進めた。職員の研修に関しては、適切な団体運営にむけて公益法人協会等の研修などに参加するとともに、産学官民連携に関する会議やセミナーにも参加している。
	団体の事業規模に応じた簡素で効率的な執行体制としている。	◎	
	コンプライアンス関係規程・必要な体制の整備、ハラスメントを防止するための措置を講じるなど、組織の体制強化に取り組んでいる。	◎	
	団体の事業規模や経営状況に応じた役員数及び職員数としている。	○	
	採用における公正性・透明性を確保している。	◎	
	団体の経営状況に応じた役員報酬や職員給与としている。	◎	
	職員研修の充実に努めている。	○	
事業運営	事業の必要性や意義を見直しつつ、効果的、効率的な事業運営を行っている。	○	イベント等では、医療・福祉・体育関係団体や企業・大学・NPO等の協力を得ながら、市民ニーズに沿った幅広い健康啓発ができています。 また、効果的、効率的な事業運営に向け、参加者数の確保や費用の縮減に向け、定例的なイベントについても、会場施設や開催形態の見直しを適切に進めている。
	事業を継続的に点検し、市民ニーズに沿ったものとしている。	○	
財務管理	中・長期的な経営計画を策定している。	△	各種教室の受講料の見直しや保有債券の利回りの運用方法の見直し等による赤字縮減の見込みが立っている。 中・長期的な経営計画については、令和7年度から進めている人員体制の見直しの成果を踏まえ、策定を進めていく。
	自主財源の確保に努めている。	○	
	各種経費を可能な限り抑制している。	◎	
	最も確実かつ有利な方法で財産の管理運用を行っている。	◎	
	外部の専門家による監査を活用するなど監査体制の強化に努めている。	◎	
情報公開	団体の経営状況、事業計画を公開している。	◎	経営状況、事業計画、役員名簿、議事録をホームページ上で公開している。事業の周知については、ホームページ・チラシ・ポスターに加えて、市の公式ライン等も活用し、随時情報を発信している。
	団体の役員名簿、会議録等を公開している。	◎	
	ホームページをはじめとする多様な手段で情報提供を行っている。	◎	
	個人情報保護に関する措置を適正に講じている。	◎	

令和8年度外郭団体活動状況評価シート No.4

【評価対象期間：令和7年4月1日から令和8年3月31日まで】

団体名	吹田市健康づくり推進事業団	所管部室(課)名
		健康まちづくり室

(2) 事業に関する評価

ア 指標による評価

事業名	活動指標	令和7年度目標	令和7年度実績	(参考) 令和6年度実績
	成果指標			
みんなの健康展	参画団体数	22団体	22団体	22団体
	参加人数	1,500人	2,117人	1,427人
チャレンジDAY	参画団体数	13団体	15団体	12団体
	参加人数	8,000人	3,482人	7,337人
健康まちづくり支援事業	取組回数	65回	71回	20回
	講習会等への参加者数	2,700人	1,739人	1,637人

イ 指標で示すのが困難な場合

事業名	活動内容	成果内容
ウォーキング会員事業	生活習慣病予防などに効果があるウォーキングを日常生活の中で習慣化し、それをいつまでも継続していくために、足腰に負担の少ない正しい歩き方を実践するとともに、「筋力」「バランス機能」「柔軟性」を高めることの必要性を理解してもらい、独自の目標達成に向けて一年間自分で積極的に身体づくりに取り組んでもらう。	登録者は高齢化しており92人と微減であるが、セーフティウォーキングナビを使用した足腰への負担を測定、また、年間2回の歩くために必要な筋力、バランス能力、柔軟性等の機能向上を目的とした講座を開催し、いつまでも自分の足で歩き続けることだけでなく、健康意識の向上を目標に、自主的に取り組んでいる。

(3) 今後の取組方針 ※(1)において◎以外とした事項、課題となっている事項について重点的に記載

自主財源の確保については、これまでも自主事業の開催や新たな賛助会員の獲得に向けて取り組んでいるが、市民の健康づくりを支援する公益目的事業を中心に実施しているため結果として収支赤字になっている。赤字軽減に向けては、各種教室の受講料の見直しや保有債券の利回りの運用方法を見直す中で改善の方向にあるが、今後安定した組織運営をしていくためには、事業の再編だけでなく組織体制についても引き続き検討していく必要がある。 令和7年度は、昨年度に引き続き企業や大学、地域事業者等の協力を得るとともに新たにヘルスケア関連企業等との連携関係も構築する中で、様々なイベントや身近な場所等において気軽に楽しみながら健康について気づいてもらえる機会を提供することで、若い世代や健康無関心層にもアプローチすることができた。さらに事業団の取組を積極的に地域活動団体等に紹介・提案していくことで、実践指導の依頼が増え、地域のニーズを把握するとともに地域住民の主体的な健康づくりの取り組みを支援することができた。 今後は、吹田市が進める健康寿命の更なる延伸及び生活の質の向上をめざして、当事業団においても企業や関係機関と連携しながら引き続き、健康無関心層を含めたすべての市民を対象とした健康づくり事業を展開するとともに、地域住民の主体的な健康づくりの取り組みを支援していく。また、健都における産学官民の取り組みに参画することで、産学連携のイノベーションの推進と市民・地域連携の仕組みを理解し、健都と地域を繋ぐ役割について検討していく必要がある。
--

令和8年度外郭団体活動状況評価シート No.5

【評価対象期間：令和7年4月1日から令和8年3月31日まで】

団体名	吹田市健康づくり推進事業団	所管部室(課)名
		健康まちづくり室

◎→できている ○→概ねできている
△→一部できている ×→できていない

2 市による評価

(1) 団体の運営に関する評価

事項	評価項目	評価	評価の理由
団体の存在意義	市民福祉の向上に資する事業を行っている。	◎	当該団体は、設立趣旨として「健康づくり都市宣言」を踏まえた市民の健康づくりの振興を掲げており、本市が推進する「一人ひとりの主体的な健康づくり」に貢献しているため。
	事業の成果が市の施策の推進に貢献している。	○	
事業実施主体としての妥当性	市が直営で行うよりも効果的かつ効率的にサービスを提供している。	○	30年以上地域団体とともに健康づくりに取り組んだ実績を生かし、多様な主体と連携し、暮らしに身近な場を活用して効果的に健康づくりの啓発を行っているため。
	多くの市民の理解が得られる活動を行っている。	○	

(2) 団体の自己評価に対する市の見解

組織については、団体の事業規模や経営状況に対し、適正な人員体制となっており、団体の職員就業規則に基づき、職員の採用を公募により行う等人事管理は適切に行われている。また、効率的な運営に向けた人員体制の見直しを進め、併せて規程等の見直しも適切に実施されている。 令和7年度の事業実績として、事業見直しの重点事業であった健康まちづくり支援事業では、雨天による大型イベントの中止等により参加人数については目標値を下回ったものの、様々な企業、地域団体と連携しての新規企画の実施等により、事業の実施回数は前年度から大幅に増となっている。 また、みんなの健康展については、企画や会場施設の見直しなどにより、参加人数が目標値を大きく上回ったほか、チャレンジDAYについても、雨天による日程変更の影響により、参加人数が目標値を大きく下回ったものの、次年度の開催に向けて雨天開催が可能な会場施設への変更を行うとともに、企画内容を再整理し費用縮減を図るなど、各事業の見直しが適切に進められている。 事業運営、組織体制及び財務に関し、各年度において、必要な見直しは実施されているが、人材の雇用及び育成、事業の定着、資金の効果的な運用に当たっては中・長期的な視点での取組が不可欠であることから、中・長期的な経営計画を組織として定め、組織運営の効率化・安定化を図っていく必要がある。

(3) 市の関与に関する今後の方向性

本市では市民の主体的な健康づくりを支援するため、各種保健事業の実施、展開をしているが、今後さらなる健康寿命の延伸をめざすためには、市民一人ひとりの自主的かつ継続的な健康づくりの取組を促進する必要がある。 市民の健康増進に寄与する事業を様々な機会を捉え幅広く実施するとともに、今後健都で創出される新たな知見・サービスを各地域で享受されるよう、地域における人・場・情報をつなぎ、地域の実情に合った住民主体の健康づくりの実践に向けた支援を行うことが重要である。 当該団体は、本市の出捐金を基に設立され、同団体が実施する市民の健康づくりを推進するための事業経費は本市から補助金の交付を主な財源としている。現在、補助金の交付対象事業については、市内の各地域において住民の主体的な健康づくりを支援する事業への見直しが進められており、一定の実績が積み上げられていることから、当該見直しによる事業効果等を評価し、効果的な事業の実施に向け、引き続き必要な助言等の支援を実施していく。
